

仕事がしたいけど、どうしよう…
 そうだ、役場に行ってみよう

職業紹介

つながり3

役場から



無料職業相談所(地域振興課)
 永田千鶴子

飯南町を勤務地とする求人は、現在、約80職種、約120人分ほどの情報があります。広報紙などの求人情報欄への掲載は、紙面スペースのこともあって、その一部です。どんな働き方がしたいのか、おひとりおひとりの想いを大切に相談を心がけています。

ください。

■ご相談の際は
 ご連絡ください

担当者不在の場合があります。相談をご希望の際は、あらかじめお電話でご連絡ください。

■相談・お問合せ

飯南町無料職業紹介所(地域振興課内)
 電話 76・2864 (担当・永田)

子育てしながら

また、町ホームページにあり
 ます。「希望する仕事の内容・
 条件」は、最大の希望を記入し
 ます。

②お仕事一覧表(求人情報)から、興味があるものをいくつか選ぶ

希望どおりの仕事が見つからない場合は、譲れる条件と譲れない条件を区別して仕事を探すか、新しい情報を待ちます。

③お仕事の内容を詳しく調べる

求人情報を見ただけでは分からないことは、あなたに代わって相談所が求人元へ問い合わせます。職場見学を希望される場合は、求人元との交渉や、見学の同行も可能です。

④応募先を決めて、採用選考へ

採用選考日等を調整のうえ、紹介状を発行します。選考会場にはご自身でお出かけ

あなたが仕事探しをするとき、誰に相談しますか？まずはハローワーク、そしてご家族や知人に相談されるのではないのでしょうか。

役場でも就職相談ができることをご存知ですか？平成20年7月に開設した「飯南町無料職業相談所」では、今年度4月～11月の相談所の利用者数は延べ37人、そのうち25人の就職が決まりました。

求人情報は、相談所に寄せられたもののほか、ハローワークなどの求人もご覧いただけます。

どんな相談をしているの？

相談所での就職相談は、次のような流れです。

①お仕事をがしの申込書(求職票)を記入する

メールアドレスを記入すると、次回からはメールで相談できます。求職票は、相談所窓口

知っていますか？

ハローワークに求職申込をしている人が基本手当(失業給付)を受け取るためには、求職活動実績として認められる活動を、原則として前回の認定日から次回の認定日の前日までに最低2回以上行わないといけません。(給付制限期間がある場合は3回以上)

役場での就職相談は、求職活動実績に認められています。ハローワークに求職申込みをしている人が役場に就職相談をするときは、雇用保険受給資格者証(顔写真を貼ったもの)をお持ちください。

つながり4 学校活動

中学生と赤ちゃんのふれあい



赤ちゃん登校日

町社会福祉協議会が主催し、赤来中学校のサークル虹の輪に所属する1～3年生の生徒が参加した「赤ちゃん登校日」。今年度は、生まれて2カ月～1歳4カ月の赤ちゃんが、お母さんと一緒に中学校に登校しました。

町内の学校では、子育て中のお母さんが学校の授業に参加して、子ども達に子育てを身近に感じてもらう『赤ちゃんふれあい授業』が行われています。また、高校では、子育てについての課題研究も行われています。

催となったこのイベント。社会福祉協議会の吾郷須摩子さんは、「生徒の皆さんが、赤ちゃんといふれあう体験を通して、小さな命に感動する心、親への感謝の気持ちなどを感じてもらえたらいいですね。参加したお母さんも、交流した生徒を通して、わが子の将来を想像してもらって、子育ての充実感やわが子への愛を深める機会になれば嬉しいです」とイベントへの思いを話していました。

参加した生徒は、「かわいかった」「いい経験になった」と。お母さんは、わが子のかわいいと思っているところを、少し照れながら紹介し、「大切にわが子が生まれて嬉しかった」と笑顔で話していました。

イクメンを目指す！

18歳男子高校生

飯南高校、学校独自の授業「生命地域学」では、地域の魅力や課題を生徒たちが自ら研究し、発表・提案する授業を行っています。



今年、保育所の保護者へのアンケートを行うなど、まちの子育てについて研究した、3年1組の吉中晃さん、中岡佑さん、三上翔さん、渡部琉希さんに「将来どんなお父さんになりたいですか？」と聞きいてみると、「休みの日は、できるだけ子どもと一緒に過ごしてあげたい。休みの日には、お母さんや子どもに、家族サービスをしたい。育児休暇をとって、お母さんと交代で子育てをできたらと思う。」昔は、お父さんは仕事だけ、家事や子育ては、お母さんに任せっきりということも今に比べれば多かったと思うけど、今の時代そんな考えじゃだめだと思う。お互いが助け合ってくれました。

つながりが幸せを生みだす

町には、結婚祝い金や出産祝い金、保育料の軽減・免除、子ども医療費の助成など、子育てに関する様々な支援制度があります。

でも、お金だけで解決できないことも多くあります。「ほつと。café」では、お母さん同士のつながりが生まれ、困ったときは助け合い、子育ての喜びや楽しさを分かち合います。そんなつながりは、お金では買えません。

小さな町だからつながりは生み出しやすいのかもしれない。でも、小さな町、田舎だからこそ、つながりが必要です。困ったとき、壁にぶつかったとき、つまづいたとき、乗り越えていく力になります。

なにより、子育ての楽しさを、町全体で共有できたら、とても幸せなことだと思います。ませんか？

お父さん、お母さん、おじいちゃんおばあちゃん、家族、学校、企業、地域、まち全体で子育てを。大きな町ではできない、小さな町だからこそできる子育てがこのまちにはあると思います。